

長野市災害復興計画

市民意見等の募集(パブリックコメント)結果について

【実施概要】

1 募集期間 令和2年2月27日(木)～3月18日(水) 21日間

2 閲覧及び意見用紙配布窓口

市ホームページ、本庁(復興局・行政資料コーナー)、各支所、被災 地区交流スペース等

3 意見の提出方法

ながの電子申請サービス、電子メール、ファクシミリ、郵送、持参(閲覧窓口)

4 募集結果 51人から166件

【対応結果一覧】

対応区分	対応方針	件数
1	答申案を修正する	6
2	答申案に盛り込まれており、修正しない	17
3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする	31
4	検討の結果、修正しない	7
5	その他(質問への回答や現状説明など)	105
合計		166

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
1	1-1	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	かつて「千曲川の水が溢れたら、豊野地域は国道18号線、国鉄（現しなの鉄道）が堤防の役割となって、水害の被害を抑えることができる」と年配の方から聞いたことがある。千曲川堤防の強化をしつつ、国道とJR・しなの鉄道の土台を一定区間かさ上げすることで、千曲川の越水及び浅川の内水氾濫の被害を減らすことができるのではないか。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画の施策1-3-1 治水・治山対策(1)(4)に記載のとおり、千曲川本川及び支川の治水対策を進めてまいります。ご意見として承りました。	5	その他（質問への回答や現状説明など）
2	1-2	45	施策1-3-2 防災・減災に 向けた都市 基盤の強化	千曲川決壊付近の道が狭く、避難に時間を要したと思われる。道路の拡張及び避難所までの道路整備をお願いしたい。	施策1-3-2防災・減災に向けた都市基盤の強化(1)において、「安全・安心な避難経路を確保するため、避難時に支障となる狭あい道路等の解消や水路への転落防止対策に努めます。」として記載しており、必要に応じて道路の拡幅や避難道路の整備等を実施します。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
3	2-1	46～47	施策1-3-3 地域の防災・ 減災体制の 強化	東日本大震災や西日本豪雨等を体験された被災者や自治体職員、地域で防災活動をしている民間団体等とも連携しながら多重的に地域防災力の向上を実施してはどうか。どれだけ関係者や団体諸団体に協力してもらい巻き込めるかと、数年先、長野市として地域防災力のゴールをどこに設定するかを明確にした上で、様々な施策を実施することが重要と考える。 さらに、防災に携わり活動している団体（市内外問わず、長野市の地域防災力向上に資すると思われる団体）への様々な形での支援を取り付けながら計画を進める必要がある。「自分達の地域や自分、家族の命は自分達で守る。」という思いを持つ市民が1人でも増えるような地域防災力向上の施策を検討してほしい。	施策1-3-3地域の防災・減災体制の強化に記載している事業を実施する上で、必要に応じて関係者や団体に協力・連携いただくとともに、市民の防災意識の高揚が図られるよう事業を推進してまいります。 また、行政の連携については1-3-4行政の災害対応力の強化(5)として、「様々な支援団体との相互支援団体との相互支援・連携体制の強化」を掲載しています。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
4	3-1	67	地区別計画：長沼地区【地区概要】	長沼地区の区名（赤沼区・津野区・穂保区・大町区の4区）を明記すべきでないか。	全市的な計画として位置付けているため、区名の一般的な認知度や、他地区の記載内容とのバランスなどを考慮し、現状の記載でご理解をお願いします。	4	答申案に盛り込まれていないが、検討の結果、修正しない

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
5	3-2	68	地区別計画:長沼地区【被害状況】	地区別計画の被害状況に人的被害についての記述がないため、追記すべきである。	第1章「2被害の状況」に記載していますが、ご意見を踏まえ、人的被害については、第5章地区別計画の長沼地区の【被害状況】に追記しました。	1	答申案を修正する
6	3-3	68	地区別計画:長沼地区【被害状況】	完成堤防が破堤した事実を踏まえた上で、復興計画を考えていく必要があるため、国・市・地元が協力して一体となった破堤の原因究明が必要ではないか。	国が開催した「千曲川堤防調査委員会」において、穂保地区の堤防決壊などについて、その被災原因の解明と再度災害防止のための復旧工法の検討が行われました。 堤防復旧に当たっては、堤防調査委員会及び地域住民からの意見なども踏まえた地質調査等の追加調査を行った上で、堤防復旧を行っている聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
7	3-4	73~75	地区別計画:長沼地区【治水対策】	今回の破堤の原因は、「越水」だけではない。破堤箇所は、長沼城跡の北三日月堀跡に位置し、破堤の誘因として「浸透」が想定される。以下の「越水対策」「浸透対策」「侵食対策」の三位一体の対策が必要である。 ・越水対策:危機管理型堤防の構築・堤防かさ上げ ・浸透対策:川側に矢板打設 ・侵食対策:川側に法覆護岸・根固工	国が開催した「千曲川堤防調査委員会」において、穂保地区の堤防決壊などについて、その被災原因の解明と再度災害防止のための復旧工法の検討が行われました。 堤防復旧に当たっては、堤防調査委員会及び地域住民からの意見なども踏まえた地質調査等の追加調査を行った上で、堤防復旧を行っている聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
8	3-5	73~75	地区別計画:長沼地区【治水対策】	「河川における防災拠点」は、堤防の川側の前面に出して、濁流を迎え撃つ形にした方が有利であると考えるため、堤防上又は川側の堤外地への設置を検討してはどうか。破堤箇所の堤防は、住宅地側に湾曲した縦断形状であり、津波と同様に周囲から濁流を集めた可能性がある。堤防は、なるべく真直ぐな直線的な形状とした方が良いため、「河川における防災拠点」の施設を利用するものである。	「河川における防災拠点」の位置、規模等については、他の防災関連施設との役割分担、重要水防箇所や過去に大きな被害を受け水防活動や緊急復旧の実施された実績、想定される水防活動及び緊急復旧活動に係る輸送路といった点を総合的に勘案し、国と市が連携・調整して検討を進めてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
9	4-1	73～75	地区別計画:長沼地区【治水対策】	「河川改修事業(狭さく部の掘削)」となっているが、これだけでは不十分である。狭さく部の川幅を広げることが必要である。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画施策1-3-1治山・治山対策(1)に記載する「狭さく部の掘削」は、必要な流下断面を確保するための掘削方法など詳細を検討し、対策を実施していくものと聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
10	4-2	83～85	地区別計画:豊野地区【治水対策】	「河川における防災拠点の整備を検討します」となっている。防災拠点の整備は良いと思うが、長沼地区に位置付けられている。豊野地区においては、市街化区域が大水害にあったこと及び千曲川、浅川、三念沢川、鳥居川等、常に警戒を要する河川が多いため、豊野地区にも防災拠点が必要であり、整備してほしい。	河川における防災拠点の位置、規模等については、他の防災関連施設との役割分担、重要水防箇所や過去に大きな被害を受け水防活動や緊急復旧の実施された実績、想定される水防活動及び緊急復旧活動に係る輸送路といった点を総合的に勘案し、国と市が連携・調整して検討を進めてまいります。今回の台風災害では、長沼地区の千曲川堤防が決壊したことによる濁流の流入が、市北部地域の広範かつ甚大な浸水被害につながっており、今後、決壊箇所周辺の堤防強化にもつながる「防災拠点」の設置が、北部地域全体の安全・安心につながることから、長沼地区の決壊箇所周辺を想定していますので、ご理解をお願いします。	4	答申案に盛り込まれていないが、検討の結果、修正しない
11	5-1	38～44、 48～49	施策1-3-1治水・治山対策、 施策1-3-4行政の災害対応力の強化	今回の台風19号では、千曲川及びその支川だけの氾濫となったが、松本方面が増水していれば今回を上回るかなりの被害(合流地点での千曲川決壊)が起こりうる状況であり、居住地では天井川であるがゆえにかなりの被害が想定される。特別警報が出され、避難が必要となったが、伝達系統のあいまいさや指定避難先の混雑があったので、以下の対策が早急に求められる。 ・堤防のかさ上げを早急に行う(特に、長西から落合橋の低い区間、水流がぶつかる水神様付近) ・安全に、時間的にゆとりをもって避難できる避難場所の確保。あるいは、世帯員数に合ったボート、浮き輪、浮きベスト等の世帯での常備 ・避難のタイミング、指示系統のシミュレーション	避難場所の確保、避難のタイミングの指示系統のシミュレーション等については、施策1-3-4行政の災害対応力の強化(1)～(3)に記載しており見直しを進めてまいります。令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」のほか、計画的に堤防の整備を進めていくこととしています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
12	6-1	25～118	第4～6章全般	復旧、復興に向けたテーマ出しを行ったと理解するが、それらの実行に向けて詳細内容・計画の作成はできているのか。また、公表はいつか。	詳細計画は作成しませんが、災害復興計画の内容及びロードマップに基づき、各実施機関が取組を着実に進めてまいります。 また、長野市災害復興計画検討委員会において、進捗管理を実施し、公表してまいります。 さらに、施策1-3-1治山・治山対策(12)に記載のとおり、「河川改修事業の工程や進捗状況等を見える化し、広く・分かりやすく市民へ情報提供」してまいりますので、ご理解をお願いします。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
13	6-2	73～75	地区別計画:長沼地区【治水対策】	過去に長沼地区から①矢板の打込み、②千曲川の川底、中洲等の掘削要望があったはずだが、それを実行しなかった経過は何か。	①過去に堤防や基礎地盤から漏水が発生し水防対応を行った箇所、また、そのおそれがある箇所について、止水矢板や護岸等による浸透対策が進められていると国から聞いています。 ②長沼地区周辺の河道では、これまでに河道掘削や砂利採取等が実施されていると国から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
14	6-3	73～75	地区別計画:長沼地区【治水対策】	千曲川の決壊箇所において行ったボーリング調査の結果はどうなったか。	堤防決壊箇所の一連の調査結果は取りまとめ中ですが、調査概要及び仮堤防の開削状況について、関係地区に順次説明を行っていると言国から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
15	6-4	73～75	地区別計画:長沼地区【治水対策】	長野市側の堤防のラインは上流から下流にかけてかなり曲がりくねっている。今回決壊した場所も河道内側に大きくカーブするところであった。堤防ラインのカーブは水位上昇時に、河川水をスムーズに流すのに支障はないのか？	現在の堤防は、長い歴史の中で引堤や在来堤防を大きく築造した構造物です。 河道改修は、現堤防間で目標とする流量を計画高水位以下で安全に流す計画に基づいて、引き続き整備を推進していくと言国から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
16	6-5	38～44	施策1-3-1治水・治山対策	河道掘削は、堤外地(農地等)の掘削だけでなく、川底、中洲の掘削も行うということか。	国では、今回の出水を受けて河川の状態を把握するための測量を行っており、高水敷で自治体の実施する災害復旧による農地の土砂撤去状況も考慮して、必要な流下断面を確保するための掘削方法などの詳細を検討し、対策を実施していくものと聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
17	6-6	50～51、 53～54	施策2-1-1 農林業の再 建、 施策2-2-1 農林業の振 興	農地の「復旧・復興」とは、どのような状態までをいうのか。堤防決壊場所、長沼支所～国道に向けては、土砂等だけでなく、ガレキ、ガラス等も埋まっているが、それらもきれいに除去してもらえるのか。また、耕作用の土を入れてもらえるのか。	農地の復旧は、被災した農地を被災前の営農が可能な状況に戻すことをいい、農地の復興は、農地の集約・集団化や転作・改植などを行い、担い手の育成等と併せて、果樹農業の経営基盤の強化、地域農業の発展を図ることをいいます。農地復旧においては、瓦礫類が混じった土砂が堆積している場合は、極力撤去した上で、耕作に適した地区内の堆積土を客土します。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
18	6-7	25～118	第4～6章全 般	「復旧」と「復興」は明確に分け、関係者全員が認識を持って進めてもらいたい。特に復旧は、スピード感が必要である。そのため、長沼地区、特に決壊場所付近の目指すべき姿を早急に示してほしい(防災拠点と国道を結ぶ道路のことなど)。	ご意見として承りました。 なお、今後、検討が必要な部分については、災害復興計画に沿って地域の皆様のご意見をお聞きしながら進めてまいりますので、ご理解をお願いします。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
19	6-8	30～31	施策1-1-2 住まいの確 保・再建支 援	長沼地区の目指すべき姿が示されなければ自宅再建ができないため、公費解体、自費解体の締め切り延長をお願いしたい。	被災地域の生活環境の保全、復旧の観点から、解体及び撤去を要する被災家屋等については、できるだけ速やかに公費解体等により除去する必要がありますが、住宅や農業用倉庫などの再建に対する支援制度が令和2年度においても当面申請可能であり、再建について検討する期間が引き続き必要と考えられることから、長野市災害廃棄物処理実行計画書において令和3年9月と定めている災害廃棄物の撤去・処理完了目標時期を踏まえつつ、被災者からのご要望や今後の公費解体及び自費解体の申請状況を勘案しながら、公費解体及び自費解体の申請受付期限の延長について、柔軟に検討いたします。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
20	6-9	50～51	施策2-1-1 農林業の再 建	長沼地区の目指すべき姿が示されなければ自宅再建ができないため、農業用倉庫等の再建や修繕の 手続期限の延長をお願いしたい。	農業用倉庫等の再建や修繕の復旧に対する支援事業の財源は、国の令和元年度補正予算で措置されているため、現段階では実施期間が令和2年度までとされています。今後、支援策の延長に対する国の動向を注視するとともに、延長を要望される声が寄せられていることをつなげてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
21	6-10	30～31	1-1-2住まいの確保・再建支援	仮設住宅の入居者には水道料金の減免があるが、被災家族だけで戸建住宅に避難している場合もあるため、同様に対象としてほしい。	被害の程度や復旧の状況は様々であり、また、仮設住宅に入居しなかった事情等も様々であることから一律に対象とはしておりませんが、個々に状況をお聴きする中で対応しています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
22	6-11	71	地区別計画:長沼地区【生活インフラ等の整備】	長沼地区の道路(県道・市道)に土が滞留し、土ほこりが常にたまっている。健康面の心配があるので、週に1度清掃車を入れてほしい。	状況を確認し、県・市で連携して対策を実施してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
23	6-12	27～28	施策1-1市民生活の再建	仕事があり平日に時間が取れないため、被災相談窓口、各種申請窓口については、土日・祝日に開設してほしい。	相談窓口について、以前は土日・祝日も開設しておりましたが、相談者がほとんどいない状況となったことから、現在は平日のみとしています。平日に時間が取れない方については、個々の事情に応じて個別に対応してまいりますので、担当部署までお気軽にご相談ください。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
24	6-13	38～44	施策1-3-1治水・治山対策	長野市側の堤防のラインが曲がりくねっている。千曲川の水位上昇時にスムーズな河川の水の流れを作るため、堤防は直線に整備し直すべきである。	現在の堤防は、長い歴史の中で引堤や在来堤防を大きく築造した構造物です。河道改修は、現堤防間で目標とする流量を計画高水位以下で安全に流す計画に基づいて、引き続き整備を推進していくと国から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
25	6-14	38～44	施策1-3-1治水・治山対策	決壊付近で山になった砂利は、上流域から流れ出でてきたものとの説明があったが、川底や河道内に堆積されているはずなので、川底、中洲、堤外地の掘削を出水期前に至急行うべきである。以後も、定期的に掘削を行うべきである。	国では、今回の出水を受けて河川の状態を把握するための測量を行っており、高水敷で自治体を実施する災害復旧による農地の土砂撤去状況も考慮して、必要な流下断面を確保するための掘削方法などの詳細を検討し、対策を実施していくと聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
26	6-15	72～73	地区別計画:長沼地区【公的サービス等の復旧・機能回復】	小学校仮設校舎の雨漏りなど、至急対応願いたい。プールを再建しないと子どもたちの学習機会を失わせることになる。保護者への説明や話をする場を細やかに持ってもらいたい。	長沼小学校仮設校舎の雨漏りは至急対応いたしました。プールについては、令和2年度から民間の屋内プール等を活用する「新しい水泳学習」を実施する方向で保護者の皆様に説明し、概ねご理解をいただいていることから、復旧しない方針です。保護者の皆様からのご意見・ご要望をお聴きしながら、児童が安心して学習の取り組めるよう適時適切な対応に努めてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
27	7-1	71	地区別計画:長沼地区【生活インフラ等の整備】	豊野駅・三才駅・柳原駅に無料駐車場を作してほしい。	ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
28	7-2	71	地区別計画:長沼地区【被災者の生活支援対策】	高齢者だと東部保健センターまで行けないため、長沼支所に保健師を常駐させてほしい。	ご意見として承りました。なお、被災者支援の観点からは、施策1-1-1被災者の生活支援対策(3)～(9)として、専任保健師の個別訪問や、長野市生活支援・地域ささえあいセンターによる被災者への巡回訪問、市の被災者見守り支援担当職員による個別のケース課題への対応など、関係機関、団体等と連携して引き続き支援してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
29	7-3	75	地区別計画:長沼地区【農林・商工・観光業の振興】	長沼地区の決壊地点を更地後、クラインガルテン(滞在型貸農園)として整備したらどうか。	ご意見として承りました。なお、市内に7箇所設置している市民農園の計360区画のうち利用中は242区画(利用率67.2%)で、農園利用のニーズは充足している状況です。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
30	7-4	28～29	施策1-1-1 被災者の生活支援対策	他地区から長沼小学校に通学してもらえるよう、長沼小学校の充実した教育内容のPRや、通学区制をゆるやかにしてほしい。	ご意見として承りました。 なお、被災に伴い転居した児童生徒に対しては、施策1-1-1被災者の生活支援対策(10)(11)として、通学等への配慮・支援を引き続き実施してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
31	7-5	72～73	地区別計画:長沼地区【公的サービス等の復旧・機能回復】	長沼地区に老人いこいの家をつくってほしい。	ご意見として承りました。 なお、東北中学校の南西にあります東北老人憩の家は、現在、被災したため休止していますが、令和2年秋頃の復旧を目指して工事を実施してまいりますので、ご利用ください。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
32	7-6	71	地区別計画:長沼地区【生活インフラ等の整備】	長沼地区のゴミステーションを新しくしてほしい。他地区のような戸が閉まり外から見えないしっかりとしたものや、24時間出しておける紙資源ゴミステーションをお願いしたい。	ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
33	7-7	71	地区別計画:長沼地区【生活インフラ等の整備】	対岸の須坂に穂保から橋をかけることにより、須坂から長野への渋滞解消となる。国道18号から津野に道路をあけ、新しい橋につなげる。その復興道路の回りは、ドッグラン、遊歩道、芝生広場ありの公園にする。	ご意見として承りました。 新橋の建設については、本市も加盟している「千曲大橋(長野市赤沼・須崎市豊洲間)県道建設促進期成同盟会」において、県への要望活動を実施しています。同盟会と連携しながら、引き続き要望活動を実施してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
34	7-8	30～31	施策1-1-2 住まいの確保・再建支援	全壊により仕方なく新築するので、国の進めている高床式住宅に補助金を出す、新築後の固定資産税を安くするなど、税金を優遇してほしい。	高床式住宅に対する補助金については、ご意見として承りました。 固定資産税等については、災害によって滅失又は損壊した家屋(被災家屋)の所有者が、被災区域内※において、令和6年3月31日までに、被災家屋に代わる家屋を新たに取得又は改築した場合には、その家屋の税額のうち被災家屋の床面積相当分について、その取得又は改築した翌年から4年度分につき、税額を2分の1に減額する特例の適用があります。 ※被災区域内(長野県は全域) (被災代替家屋の固定資産税・都市計画税)	5	その他(質問への回答や現状説明など)
35	7-9	72～73	地区別計画 -長沼地区 【公的サービス等の復旧・機能回復】	長沼地区に小布施図書館のようなたまたまのカフェ併設の図書館を作ってほしい。	ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
36	7-10	73～75	地区別計画:長沼地区【治水対策】	防災ステーションに千曲川河川事務所に入ってほしい。	河川防災ステーションは、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保し、河川管理施設保全活動及び緊急復旧活動を実施するための活動拠点となります。 ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
37	7-11	72	地区別計画:長沼地区【公的サービス等の復旧・機能回復】	長沼保育園の保育“自然とともに育つ”をもっとアピールし、皆が長沼保育園で過ごさせたいと思うようバックアップしてほしい。	市ホームページ内の「ながの子育てサイト」などを活用し、長沼保育園も含めた各園の独自性を引き続きアピールしてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
38	8-1	32～33	施策1-1-3 地域コミュニティの再構築・育成	津野公会堂再建のための費用を援助してほしい。現行の3分の2の補助があっても、残り3分の1は区の負担となるため、住民の負担が大きすぎて直せない。	施策1-1-3地域コミュニティの再構築・育成(3)に記載のとおり、「地域公民館などの早期復旧に向け、改修等に要する地区の費用負担の軽減を図ります。」としており、今後、県が新たに創設した「コミュニティ復興支援交付金」の活用を含め、補助要件や予算配分などの制度設計を詰め、被災地のコミュニティの再生につながるよう支援してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
39	8-2	72～73	地区別計画 -長沼地区 【公的サービス等の復旧・機能回復】	公費解体で家がなくなるので、せめて着替え、食事、休めるところをすぐにつくってほしい。トレーラーハウスは、土日閉まっているので、すぐに使えない。使える場所をなるべく安い方法で考えてほしい。	ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
40	8-3	75	地区別計画:長沼地区【農林・商工・観光業の振興】	パルセイロのグラウンドを長沼へもってきてほしい。	AC長野パルセイロの練習グラウンドについては、AC長野パルセイロが主体となり考えていくものでありますので、いただいたご意見については、AC長野パルセイロにお伝えします。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
41	8-4	30～31	施策1-1-2 住まいの確保・再建支援	長沼へ公営住宅をつくってほしい。その場合に、長沼地区の住民を優先的に入れてほしい。また、家ができるまで、短期間だけ入居することも許可してほしい。	自力再建が困難な被災者の皆様の新たなすまいの確保を図るため、被災前のコミュニティの維持にも配慮しながら、各被災地区における災害公営住宅入居の需要調査の結果を踏まえて整備に取り組んでまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
42	8-5	73~75	地区別計画:長沼地区【治水対策】	「河川における防災拠点」を千曲川の決壊したところへつくってほしい。	河川における防災拠点の位置、規模等については、他の防災関連施設との役割分担、重要水防箇所や過去に大きな被害を受け水防活動や緊急復旧の実施された実績、想定される水防活動及び緊急復旧活動に係わる輸送路といった点を総合的に勘案し、国と市が連携・調整して検討を進めてまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
43	8-6	75	地区別計画:長沼地区【農林・商工・観光業の振興】	千曲川堤防上を走る「長沼復興マラソン」や、ウォーキングイベントなどをつくって復興の様子を見てもらいたい。 長野マラソンも初回のコースに戻し、長沼の堤防を走ってもらいたい。	長野マラソンのコースは、大会組織委員会が設定していますが、国際陸上競技連盟の規則を満たす現在のコースに変更後定着しており、初回のコースに戻すことは困難と考えています。また、「長沼復興マラソン」やウォーキングイベントなどのご意見については、今後の取組の参考とします。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
44	8-7	38~44	施策1-3-1治水・治山対策	堤防を高く、コンクリートで丈夫にしてほしい。越水ありきではなく、越水しないように川底を掘って川を深くして、一度で終わらせず毎年繰り返してほしい。また、掘った場所がどこか、どの程度掘ったのか、わかるように提示してほしい。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画施策1-3-1治水・治山対策(1)(4)のとおり、千曲川の堤防強化も含めた治水対策を進めます。また、施策1-3-1治水・治水対策(12)に記載のとおり、「河川改修事業の工程や進捗状況等を見える化し、広く・分かりやすく市民へ情報提供」してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
45	8-8	38~44	施策1-3-1治水・治山対策	ダム管理者との連携や堤防下の土壌改良など、地元住民の要望を聴く努力をし、毎年、県や国に要望してほしい。	施策1-3-1治水・治山対策(7)に記載のとおり、「国・県への抜本的な治水対策を今後も継続的に要望し、住民の声の反映に努めます。」としており、今後も住民の皆様のご意見・ご要望をお聴きし、県や国に要望してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
46	8-9	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	村山から立ヶ花までの河床の掘削を定期的に行ってほしい。農地は、須坂側も併せて土をとってほしい。	国では、今回の出水を受けて河川の状態を把握するための測量を行っており、高水敷で自治体を実施する災害復旧による農地の土砂撤去状況も考慮して、必要な流下断面を確保するための掘削方法などの詳細を検討し、対策を実施していくものと聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
47	8-10	72～73	地区別計画:長沼地区【公的サービス等の復旧・機能回復】	道路、公的機関(保育園、小学校、支所、公民館)などをつくる時には、決まる前に原々案から住民に細かく説明してほしい。	ご意見として承りました。復興事業の推進に当たっては、地区のご意見をお聴きしながら進めてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
48	8-11	71	地区別計画:長沼地区【生活インフラ等の整備】	津野信号から東へ入る道の西側は、すでに家のリフォームを始めており、これから道路を拡張という話は納得できないので、今までの生活道路の幅はそのままをお願いしたい。ただし、復興道路は必要なので、どこに作るかはまず住民の意見を聞いてほしい。	ご意見として承りました。道路の建設については、地区の皆様のご意見をお聴きしてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
49	8-12	58～59	施策3-1-1 移住・定住 促進	シングルマザーやボランティアに来ていただいた女性が農作業等の交流を通し、長沼地区の独身男子と仲良くなり定住してもらえよう、マッチングしてほしい。	ボランティアに参加された女性や被災された男性の気持ちに十分配慮し、自然な交流の中で、定住となることを望ましいと考えています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
50	9-1	72～73	地区別計画:長沼地区【公的サービス等の復旧・機能回復】	保育園の仮設は、現状では適切ではない。なぜなら、公費解体と道の舗装で最終的に作業終了するのは、令和4年度で、仮設退去期限となり、トラック往来が落ち着くのもその頃と思われるので、子どもたちは外遊びもできないし、送迎もトラックが行き来していて怖い。	仮設園舎は、在園児保護者等の皆様へ事前に説明させていただき設置していますので、ご理解をお願いします。また、公費解体に伴う車両等の往来については、できる限り保育園に隣接した道路を通行しないよう、解体事業者へ協力を依頼してまいります。なお、保育については、車両等の往来などの周辺環境に十分配慮しながら、子どもの安全が最大限確保できるよう努めてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
51	9-2	72~73	地区別計画:長沼地区【公的サービス等の復旧・機能回復】	仮設支所で今まで行っていた行事(特に子育てに関すること)を実施してほしい。	長沼交流センターで行っていた行事等は、可能な限り継続していきたいと考えていますが、仮設庁舎では、施設のスペースや設備に限られることから、子育てに関する行事など、住民のニーズをお聞きしながら事業を進めていきます。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
52	10-1	38~44	施策1-3-1 治水・治山対策	千曲川が満水となり内水の排水ができない以上、雨水調整池、校庭貯留、公共施設への貯留施設整備などのハード対策は必須であり、農業用水路へも設置してほしい。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」に示すとおり、河道掘削、遊水地、堤防整備・強化などの治水対策、地域連携による流域対策及びソフト対策を一体的かつ緊急的に進めてまいります。また、長野市災害復興計画施策1-3-1 治山・治山対策(1)に記載のとおり、千曲川の河道掘削を含めた治水対策を進めてまいります。また、施策1-3-1 治山・治山対策(10)に「農業用ため池等の既存施設の有効活用を進めていきます。」と記載しており、農業用水路の活用をも含めて検討してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
53	10-2	38~44	施策1-3-1 治水・治山対策	土地区画整理事業や宅地開発により水田などの保水能力が低下したのも内水氾濫の一因である。行政による雨水調整池などの設置と併せ、今後は宅地開発業者等に低下した保水力と同等以上の能力の雨水調整池などの設置を義務化してほしい。	宅地開発(開発行為)の許可では、宅地化により流出する雨水排水を抑制するために、低下した保水力と同等以上の能力の雨水浸透施設等の設置を義務付けています。また、建築物の新築等では、雨水浸透桝の設置を指導しています。宅地や建築物の敷地からの雨水の流出抑制に引き続き取り組んでまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
54	11-1	98~99	地区別計画:篠ノ井地区【治水対策】	小森第一、第二、西寺尾第一、第二、東福寺排水機場は、昭和期の計画堤防高で設定されているため、実際の堤防より吐出水槽が55cm低くなっている。そのため、今回の災害時では水が吐出水槽から噴出し、施設内を浸水させ機能不全に陥り内水氾濫を引き起こした。今回の改修では、吐出水槽の対応がなされていないので、同様の被害が再発する恐れがあるため、根本的な見直しを要望する。	吐出水槽の高さは、千曲川の計画堤防高と同じ高さとなっておりますが、吐出水槽から水が噴出したことについては、様々な原因があると考えられるため、ポンプ能力や吐出水槽の構造等を検証し、ご意見については、国・県にも情報共有・要望の上、今後検討してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
55	12-1	106～108	地区別計画:松代地区【治水対策】	台風19号のような豪雨になると、国交省による排水規制がかかり、支川(神田川・蛭川)の既存計画セミバック堤防区間(神田川930m、蛭川1,850m)の河川断面容量では、湛水容量不足で内水氾濫が生ずる。 根本的な治水対策は、千曲川本川での河川改修事業(堤防強化整備・河道浚渫等)の速やかな促進が必要である。 また、松代地区内の内水氾濫原因の早急な検証(県によるシミュレーション解析)し、松代地区内の具体的取組(事業等)を記載するとともに、原形復旧並びに新たな堤防等強化整備対策の内容・場所・期間を示すこと。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画第5章地区別計画の松代地区の【治水対策】(1)～(4)に記載のとおり、各対策を進めてまいります。 具体化している箇所については、ロードマップの備考欄に追記しました。なお、他地区においても同様に追記しました。	1	答申案を修正する
56	12-2	41	施策1-3-1治水・治山対策	県の「河川情報の提供」に関して、以下の内容を追記すること。 ・簡易型河川監視カメラ ・危機管理型水位計	施策1-3-1治水・治山対策のロードマップ(11)の備考欄に追記しました。	1	答申案を修正する
57	12-3	43～44	施策1-3-1治水・治山対策	国の復旧工事等の具体的な実施箇所とその内容をロードマップの備考欄に記載すること。	信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの最終とりまとめ資料として、対策内容を図等で示しています。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
58	12-4	74、84、99、107、116	地区別計画:各地区【治水対策】	ロードマップにおいて、蛭川、神田川の対策工事の詳細を記載すること。	具体化している対策工事については、ロードマップの備考欄に追記しました。 なお、他地区においても同様に追記しました。	1	答申案を修正する
59	12-5	108	地区別計画:松代地区【治水対策】	市のポンプ施設、排水機場の整備内容をロードマップの備考欄に記載すること。	松代温泉団地ポンプ施設、西田川排水機場排水機場のポンプの能力アップ等について追記しました。	1	答申案を修正する

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
60	12-6	107～108	地区別計画:松代地区【治水対策】	東寺尾雨水調整池の整備について、旧藤沢川廃河川敷に流入する水源は、蛭川本線宮崎地区左岸の宮崎用水取入ゲートよりバイパス附帯用水路を経由し、浄福寺北側でバイパスを暗渠横断し、東田・北田地区の稲作耕作水として使用され、最終的に蛭川に流出されるよう計画されている。豪雨時等には、水門ゲートを閉鎖可能である。したがって、現在、雨水調整池として1,000㎡規模を予定しているが、今回の台風19号のような豪雨対策では規模が少なく中途半端で、また近隣住民の不安が助長される。	東寺尾雨水調整池は、令和元年東日本台風のように、一級河川蛭川からの出水に対応するものではなく、夕立などの短時間の豪雨による浸水被害軽減を想定しています。同雨水調整池については、長野真田線バイパスへ降った路面水の一部を貯留し、下流の西田川排水機場の負担を軽減させる目的で、旧関屋川の現施設を活かす中での整備を予定しています。今後の取組の参考とさせていただきます。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
61	12-7	107～108	地区別計画:松代地区【治水対策】	既存農業用ため池を利用した流出抑制対策について、松代地区のため池は、大日池のみで、常時、溢水状態と思われる。近隣の田んぼの畔かさ上げ、学校グラウンド、松代城の堀等の利用が考えられるのではない。	松代地区のため池は、10箇所あります。雨水調節に活用できるため池については、関係者と調整の上、流出抑制対策を推進します。田んぼの畦かさ上げ、学校グラウンド、松代城の堀等の利用については、流出抑制に有効であると考えますが、課題もあることから、今後検討してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
62	13-1	98～99	地区別計画:篠ノ井地区【治水対策】	今回の台風19号で小森第一、第二排水機場は千曲川の大洪水が逆流して吐水槽から濁流が噴出し、機能不能になった。原因として堤防のかさ上げされた際に機場の吐水槽も同時にかさ上げ改修されていなかったと考えられる。 小森排水機場の早期復旧・耐水化に併せ、吐水槽の改修整備も同時にお願したい。 併せて、小森第二排水機場、西寺尾第一排水機場、西寺尾第二排水機場、東福寺排水機場、西寺尾第三排水機場の吐水槽を調査し、かさ上げされていない排水機場の早期改修整備をお願したい。	吐出水槽の高さは、千曲川の計画堤防高と同じ高さとなっておりますが、吐出水槽から水が噴出したことについては、様々な原因があると考えられるため、ポンプ能力や吐出水槽の構造等を検証し、ご意見については、国・県にも情報共有・要望の上、今後検討してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
63	14-1	98～100	地区別計画:篠ノ井地区【治水対策】	岡田川堤防のコンクリートブロックが倒れてしまっているところ(桜荘の対岸)の復旧工事を早期実施(令和2年6月まで)してほしい。	当該箇所の早期復旧をしていくと県から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
64	15-1	98～100	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	今回の台風19号災害で、篠ノ井橋手前から稲荷山へ抜ける県道77号線バイパスのアンダーパス部分が1か月近くにわたり通行止めになった。これにより、旧道の県道が、朝夕の通勤時間帯を中心に大渋滞となったため、アンダーパスの治水対策、特に泥の侵入を防ぐような対策を強く要望する。	河川の氾濫等に対して抜本的に対応することは困難ですが、今後の被災時には、今回の事例を経験する中で、早期復旧に努めていくと県から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
65	15-2	98～100	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	令和2年3月上旬に篠ノ井総合市民センターで行われた国・県・市の河川担当者と住民との意見交換会で、10月12日から13日にかけて篠ノ井地区の各河川で時系列で何が起こったのかの検証が国・県・市の間で十分に行われていなかった。それぞれに情報を持ち寄って、今回の水害がどのようにして起きたのか、原点に戻って検証をすることで、河川の復旧、整備の優先度が浮かび上がるのではないかと。	同会議において話題となった、越水時刻の不整合については、消防局に確認を行い、今後、県において再確認の結果を基に調査を実施する予定です。また、市においても、県の調査に加える形で岡田川へ排水される水路についての検証を行い、排水路整備の優先度を決定する際の基礎としていく予定です。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
66	16-1	98～100	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	塩崎軻良根古神社横の千曲川は、流れが南北から東西に大きく変わるところで、すぐ下流に新幹線、国道18号、しなの線の鉄橋が連続してかかり、聖川が合流するなど、水位や水圧が特に上昇する特殊な場所であるため、特別な対策をお願いしたい。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」に示すとおり、河道掘削、遊水地、堤防整備・強化などの治水対策、地域連携による流域対策及びソフト対策を一体的かつ緊急的に進めてまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
67	16-2	98～100	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	塩崎軻良根古神社横の千曲川は、決壊寸前だったため、越水しないためのかさ上げ及び越水しても決壊しにくい強化な堤防づくりをお願いしたい。	同上 (通番66)	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
68	16-3	98～100	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	越水を防ぐために最も重要な大規模な河道掘削により、河道を下げてほしい。	同上 (通番66)	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
69	17-1	83～85	地区別計画：豊野地区【治水対策】	治水・治山対策として、豊野地区に「防災拠点の整備」の文言がない。復旧支援の観点であれば長沼地区であるが、今後の話であるならば、豊野地区に防砂拠点を整備すべきであり、「沖団地跡地に防災拠点を整備することを検討する」旨、復興計画に盛り込んでいただきたい。	河川における防災拠点の位置、規模等については、他の防災関連施設との役割分担、重要水防箇所や過去に大きな被害を受け水防活動や緊急復旧の実施された実績、想定される水防活動及び緊急復旧活動に係る輸送路といった点を総合的に勘案し、国と市が連携・調整して検討を進めてまいります。 今回の台風災害では、長沼地区の千曲川堤防が決壊したことによる濁流の流入が、市北部地域の広範かつ甚大な浸水被害につながっており、今後、決壊箇所周辺の堤防強化にもつながる「防災拠点」の設置が、北部地域全体の安全・安心につながることから、長沼地区の決壊箇所周辺を想定していますので、ご理解をお願いします。 ただし、大規模な水害時における迅速な復旧支援のため、豊野地区を含めた長野市東北部の消防体制等の強化について検討します。	4	答申案に盛り込まれていないが、検討の結果、修正しない
70	18-1	83～85	地区別計画：豊野地区【治水対策】	豊野地区へ防災ステーションの建設をお願いしたい。浸水深が12mとのことなので、避難所となるような4階建て以上の建物を沖団地跡地の建設していただきたい。	同上 (通番69)	4	答申案に盛り込まれていないが、検討の結果、修正しない

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
71	19-1	83～85	地区別計画:豊野地区【治水対策】	なぜ、長沼にあつて豊野に「防災拠点」の文言が入っていないのか。支川に防災ステーションがある事例もあるので、豊野地区の地区別計画にも、防災ステーションの検討を盛り込んでいただきたい。	同上 (通番69)	4	答申案に盛り込まれていないが、検討の結果、修正しない
72	19-2	83、85	地区別計画:豊野地区【治水対策】	以前から要望している豊野地区への消防署の設置について検討してほしい。	新たに開通する都市計画道路の交通状況を踏まえながら、「豊野地区を含めた長野市東北部全体の消防体制等について検討」することを追記しました。	1	答申案を修正する
73	20-1	38～44	施策1-3-1 治水・治山対策	今回の越水堤防決壊の現実を直視し、今後の気候変動も鑑みて、現在のままの復旧では越水破堤の再発はあり得ると真摯にとらえることが重要である。まず、降雨量と流量の関係性を明らかにし、この治水対策計画のH.W.L.が将来にわたり適正かどうか、また、リスクマネジメントの考えも入れた余裕度も含めて、継続的な検証が望まれる。そして、今回危機管理型ハード対策を実施するにしても、今後不足している点が考えられる場合は、その都度速やかな追加処置の施工が望まれる。 特に、村山橋より下流における左岸堤防に関しては、越水対策として河道掘削と直線化による整流、立ヶ花狭さく部の早期掘削による拡幅、軟弱地盤による沈下対策も含めた堤防のかさ上げ、堤防強化策として両法面、法尻部の強化、浸透対策として住居側・堤防河川側への鋼矢板の打設は必須と考える。	令和元年東日本台風による出水の検証については、国で引き続き照査を進めていくものと聞いています。 対策工法等のご意見については、国へ情報共有します	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
74	20-2	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	信濃川水系緊急対策プロジェクトの実施完了の加速的な前倒しを望む。 加えて、その進捗を住民が定期的に(半年に一度程度)確認できる機会や場所(防災センター等)を設けていただきたい。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画施策1-3-1治水・治山対策(1)(4)のとおり、千曲川の堤防強化も含めた治水対策を進めます。また、施策1-3-1治水・治水対策(12)に記載のとおり、「河川改修事業の工程や進捗状況等を見える化し、広く・分かりやすく市民へ情報提供」してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
75	20-3	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	西大滝ダムについて、その流量への影響について明らかにし、バイパス設置など流量を増やす対策を望む。	ご意見については、国・県等の関係機関へ情報共有します。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
76	21-1	81～82	地区別計画:豊野地区【公的サービス等の復旧・機能回復】	豊野支所周辺は過去においても浅川の内水氾濫で浸水してしまった経過があり、今後も浸水被害になる可能性は十分ある。支所機能の停止は、特に災害対応においては影響が大きいので、今後、豊野支所の復旧に当たっては、被災前の1階フロアではなく2階・3階に設置し、被災時等に対応できるようにしていただきたい。	豊野支所の復旧に当たっては、住民自治協議会や関係する皆様と協議し、検討してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
77	22-1	98～99	地区別計画:篠ノ井地区【治水対策】	「遊水地の整備(国)」の復旧、復興期間が令和7年度以降も継続するよう見えるが、防災対応としての遊水地ならば、できるだけ短期間に整備しなければ効果が出ないのではないか。期間を明確にして進めてほしい。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の河川における対策では、概ね5年と概ね10年の段階的目標を立て、目標を達成するための対策内容をお示ししています。 なお、遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、詳細が決定されると国から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
78	23-1	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	浅川ダム造成等に多大な費用をかけているが、堤防や遊水地に力を入れるべきではないか。	治水対策については、流域の状況や各地域の特性などに応じた対策を実施していると県から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
79	23-2	32～33	施策1-1-3 地域コミュニティの再構築・育成	被災地の復旧に係るボランティアの献身的なご苦勞に頭が下がるが、公費で作業等をする人を雇って多人数でやるべきではないか。	災害ボランティアについては、市内外の多くの方にご協力ををいただいています。現在は、把握したニーズに応じて、事前登録をしていただいた方をお願いしています。 農地ボランティアの作業においては、重機などの経費について支援制度がありますので、ご活用いただけるよう周知してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
80	24-1	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	国がかつて提案していた「耐越水堤防」による堤防強化を国を求めるべきである。	ご意見については、国へ情報共有します。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
81	25-1	32～33	施策1-1-3 地域コミュニティの再構築・育成	「全国からのボランティア等とのつながりの継続」等の記述があるが、災害ボランティア活動が過去のことで、既に終息しているような印象を受ける。ボランティア活動は現在進行形で、終わっていない。実際に、現時点でも長野市の支援者、県内外から駆けつけて長期滞在してくれている支援者など、大勢のボランティアによる各種の支援活動が継続している。社協の災害ボラセンは現在休止しているが、NGO・NPO・各種団体・個人は、新型コロナウイルス感染拡大防止に注意を払いながら活動を継続している。計画には、「全国からのボランティア活動の受入継続、及び支援活動を継続してくれているボランティア等とのつながりの継続」の視点での追記をお願いしたい。	発災の直後から、全国のボランティアの皆様のお力添えをいただき復旧を進めることができ、現在も温かい支援をいただいています。施策1-1-3地域コミュニティの再構築・育成(5)において、「ボランティアを行う者と受ける者の相互にとって、地域でのボランティア活動が行いやすくなるよう、コーディネートなどの支援を行います。」と記載しており、今後も多くのボランティアの方にご支援をいただけるよう、ボランティア活動のコーディネートなどに取り組んでまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
82	25-2	32～33	施策1-1-3 地域コミュニティの再構築・育成	「仮住まいの方への情報伝達・地域のつながり」について記述があるが、数年間は継続すると想定される仮住まいの場所においても、被災者が孤立しないようコミュニティを形成・維持する取組について追記をお願いしたい。	被災者の孤立防止のための活動は、仮設住宅内のコミュニティづくりを目的とした各種サロン活動等の実施を検討していきます。また、被災地区とのつながりを失わないよう、巡回訪問などを通じた被災地区に関する情報の提供等について、適宜住民自治協議会と検討してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
83	26-1	38～44	施策1-3-1 治水・治山対策	今回の破堤は、上流部での記録的な雨量が大きな原因であるが、過去において河道内の土砂撤去が行われず河床が上がったことも原因と思われる。村山橋から新幹線橋りょう間で実施中の河道内の樹木伐採と合わせて、堆積土砂の撤去を本年度の増水期までに実施してほしい。	国では、今回の出水を受けて河川の状態を把握するための測量を行っており、高水敷で自治体の実施する災害復旧による農地の土砂撤去状況も考慮して、必要な流下断面を確保するための掘削方法などの詳細を検討し、対策を実施していくものと聞いています。 洪水時の流下阻害や河川巡視の視野確保の観点から支障となる樹木については、毎年、維持工事や住民参加による公募伐採も活用しながら効率的な樹木管理に取り組んでおります。 また、防災・減災・国土強靱化のための3箇年緊急対策として、平成30年度補正予算及び平成31年度予算により、河道内の樹木伐採を実施していると聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
84	26-2	73～74、 83～84	地区別計画:長沼地区、豊野地区【治水対策】	「浅川の内水対策」として、「堤防かさ上げ(浅川下流右岸)」を「両岸」にすること。	第5章地区別計画の長沼地区・豊野地区の【治水対策】において、浅川の内水対策として、「地域住民や学識経験者などのご意見を踏まえ、必要な措置を検討します。」としています。 なお、浅川の内水対策については、県の「浅川総合内水対策計画」においても、「中長期整備(排水機場の増設(7m ³ /s)、堤防の嵩上げ(浅川下流右岸)、二線堤の整備)の前倒しを行った上で、今回の降雨パターンとなった場合のシミュレーションでは床上浸水家屋は発生しない結果となったが、千曲川の排水規制が今回より長くなった場合を想定して、地域住民や学識経験者などのご意見を踏まえ、必要な措置があれば検討する」とされています。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
85	26-3	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	千曲川の増水時の立ヶ花から下流への流量抑制のため、計画高水をオーバーした水量を二ツ石部落から新潟県の板倉町まで大規模な地下トンネルで河道を新設して日本海へ流すことを提案する。	ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
86	27-1	46～47	施策1-3-3 地域の防災・ 減災体制の 強化	国土交通省から長野市役所に堤防決壊の情報伝達が行われなかったのは事実か。国土交通省との間での災害時の情報伝達の方法を教えてください。	国土交通省千曲川河川事務所とは、平時から情報伝達訓練を行っており、情報の伝達方法は、電話、ファックス、メールとなります。今回の災害においては、国土交通省千曲川河川事務所から「堤防決壊」の情報はありませんでした。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
87	27-2	46～47	施策1-3-3 地域の防災・ 減災体制の 強化	時系列的に①千曲川で長沼地域の越水が始まった時間、②堤防決壊を把握した時間、③長野市が国土交通省から通知された時間の3点について、どの地点の監視カメラで確認したかと、それぞれの時間帯における避難指示のレベルを教えてください。	①13日午前1時8分頃と考えています。 ②決壊を確認したのはテレビ映像となり、13日午前5時30分頃です。 ③決壊の情報は、国土交通省千曲川河川事務所から市への伝達はありませんでした。監視カメラについては、千曲川左岸57.4km(穂保地点)です。また、避難指示(緊急)(警戒レベル4)は、①以前の12日午後23時40分には長沼地区を含む千曲川沿川の各地区へ発令しております。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
88	27-3	46～47	施策1-3-3 地域の防災・ 減災体制の 強化	避難指示の危険度、緊急度がまったく住民に伝わっていなかった。災害時は、特に情報伝達を速やかに正確に実施してほしい。	情報の発信については、防災行政無線、防災メール、報道機関への情報提供、自治会などの情報伝達、市ホームページへの掲載、消防車などによる広報などあらゆる手段で伝達しました。しかしながら、被災された住民の皆様から情報及び危険度が伝わらなかつたとの意見もあることから、施策1-3-3地域の防災・減災体制の強化(7)に記載のとおり、多く方に必要な情報が伝わるよう検討してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
89	27-4	46～47	施策1-3-3 地域の防災・ 減災体制の 強化	視覚・聴覚障害者、高齢者などの「社会的弱者」に対する避難指示や避難誘導は、どのように行われていたのか。 「聞こえやすい防災行政無線放送」だけでは解決しないので、聴覚障害者に対しては赤色灯の設置など、視覚で緊急事態が把握できるようにしてほしい。	通常の防災行政無線のほか、聴覚障害者の皆様には、登録制によるファックスで情報伝達しました。また、高齢者の皆様には、地区の民生委員さんなどの協力のもと、地区から情報伝達をしていたくなどにより情報をお伝えしました。災害を踏まえ、復興計画では、施策1-3-3地域の防災・減災体制の強化(7)に記載のとおり、障害者や高齢者の皆様にも必要な情報が伝わるよう検討してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
90	27-5	30～31	施策1-1-2 住まいの確保・ 再建支援	生活再建支援金は、最大で300万円しか支援が受けられないが、この金額では台風災害以前の家と生活の再建は不可能である。 生活再建、住宅の再建のために、最低限リフォームができる1,000万円の補償は必要だと考える。支援金の増額を国に要望するだけでなく、特例法や臨時法の立案により、被災の実態に見合った補償を求める。	被災者生活再建支援金の支給額は法律で定められておりますことから、施策1-1-2住まいの確保・再建支援(5)に記載のとおり、支援金額の増額を含め支援制度の拡充について、市長会を通じて、被災市として国に要望してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
91	27-6	39～40	施策1-3-1 治水・治山 対策	「危機管理型ハード対策(堤防裏法尻の補強等)を整備します。」とあるが、なぜ法尻だけの補強なのか。裏法面の「桜づつみ」は簡単に壊れたので。この教訓を活かすべきである。 今までの堤防よりはるかに決壊のリスクが小さいアーマーレビー工法による堤防を検討の上、実現されたい。	河川改修は、河川水位を下げるための河道掘削や洪水流量そのものを減らすための洪水調節施設の整備を基本に、施設規模を上回る洪水に対する危機管理の取組として、氾濫が発生した場合にも被害を軽減するため、堤防構造の工夫として裏法尻をブロック等で補強し、深掘れの進行を遅らせる対策であると聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
92	27-7	83～85	地区別計画:豊野地区【治水対策】	千曲川本川だけではなく支川の治水対策も万全を期していただきたい。具体的には、浅川、鳥居川の治水について、強固な堤防建造を前提に進めてほしい。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画の施策1-3-1治水・治山対策(1)(4)に記載のとおり、千曲川本川及び支川の治水対策を進めてまいります。ご意見として承りました。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
93	28-1	98～100	地区別計画：篠ノ井地区【被害状況等】	篠ノ井地区では、千曲川の増水や越水による浸水被害が発生するとともに、塩崎地籍付近一帯で堤防の一部が越水により損壊、また排水機場の停止により岡田川や用水等で内水氾濫が発生し、広範囲な浸水被害を受けた。 被災前の住み慣れた生活圏で引き続き安心した生活を取り戻すため取組を進めてほしい。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画の施策1-3-1治水・治山対策(1)(4)に記載のとおり、千曲川の堤防強化も含めた支川の治水対策を進めます。ご意見として承りました。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
94	29-1	98～100	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	篠ノ井駅より昭和・御幣川地区の雨水は、寺裏堰を経由して岡田川へ排水される。しかし、岡田川の横田水門が閉じると寺裏堰水門も逆流対策で閉じる。そのため、寺裏堰水門で雨水が溜まり、周辺の住宅、田畑へ流出してしまう。 市道579号線には新都市排水路工事が近々施工されるので、市道071号線の寺裏堰より100mのバイパス水路工事を追加していただき、大雨時の増水を防止してほしい。	第5章地区別計画の篠ノ井地区【治水対策】(5)に記載のとおり、岡田川排水機場については整備が促進され、令和6年度までに完了の予定となっております。排水機場の整備により寺裏堰水門からの逆流については軽減される見込みであるため、排水機場の進捗を確認する中、雨水排水路としての計画がある寺裏堰下流における浸水対策を引き続き検討をまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
95	29-2	46～47	施策1-3-3地域の防災・減災体制の強化	住民自治協議会でマイ・タイムラインを作成し、タイムラインで定めた状況になったとき、住民自治協議会独自の災害対策本部を設置し、①避難場所情報、②避難指示、③各区よりの状況報告や相談にあたる体制としたらどうか。 (参考) ・本部には退任した区長数名を充てる。 ・専用電話を用意する。 ・市の対策本部の本格稼働で解散する。	マイ・タイムラインは、個人、企業、自治会など、それぞれの避難とそのタイミングをあらかじめ決めておくことで災害時の適切な避難行動につながり、有効と考えています。また、地区の災害対策本部の設置についても、実際にこのような体制で対応している地区があり、避難所や避難指示の情報共有など、地区防災体制の強化につながり有意義と考えています。 施策1-3-3地域の防災・減災体制の強化(3)に記載の「早期避難を促す住民の自主的避難体制づくり」において検討をまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
96	30-1	50～51	施策2-1-1 農林業の再 建	地域には果樹栽培で生計を立てている方が多くいるが、農業の再開を諦めざるを得ない状況となっている。千曲川付近一带の堤防、土手の整備において、手つかずのまま放置されている被災箇所について、一刻も早く工事に着手してほしい。	本年度の営農が可能となるよう迅速な農地復旧に努めてまいりますので、ご理解をお願いします。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
97	31-1	98～100	地区別計 画:篠ノ井地 区【治水対 策】	①治水対策(1)については、河川改修事業の効果をシミュレーションし、住民に丁寧に説明してほしい。 ②治水対策(2)については、早期に実施し、住民に丁寧に説明してほしい。聖川については、これまでどのようなメンテナンスしてきたのかが不明である。 ③治水対策(8)については、維持管理を実施するほか、下流にある排水機場の機能状況もしっかり検証してしかるべき対策をしてほしい。	①施策1-3-1治山・治水対策(12)に記載のとおり、「河川改修事業の工程や進捗状況等に見える化し、広く・分かりやすく市民へ情報提供」してまいります。 ②地元の皆様と情報共有しながら、引き続き、適切な維持管理に努めてまいります。 ③排水機場については、ポンプ排水の稼働実績や機能状況を検証するとともに、浸水した排水機場を早期に復旧する予定です。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
98	32-1	73～75	地区別計 画:長沼地 区【治水対 策】	防災ステーションを長沼の堤防決壊場所に作ってほしい。 防災ステーションを国・県・市が共同で整備し、長沼支所・交流センターを防災ステーションに併設したらどうか。	河川における防災拠点の位置、規模等については、他の防災関連施設との役割分担、重要水防箇所や過去に大きな被害を受け水防活動や緊急復旧の実施された実績、想定される水防活動及び緊急復旧活動に係る輸送路といった点を総合的に勘案し、国と市が連携・調整して検討を進めてまいります。長沼支所・交流センターにつきましても、防災拠点の整備に併せ、被災地区の皆様のご意見をお聞きしながら検討してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
99	32-2	58～59	施策3-1-1 移住・定住 促進	<p>移住・定住促進として、地域おこし協力隊を任命し、以下の取組を進めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんご栽培農家を増やす ・地域の魅力の発信 ・長沼保育園の保育内容の良さをアピールし、長沼保育園に入りたい親を増す、長沼に住む ・長沼小学校の少人数教育他の実践のすばらしさを情報発信し、長沼小に子どもを通わせたい親を増やす 	<p>現在、長野市では中山間地域の活性化のために中山間地域13地区を対象に地域おこし協力隊を導入しています。ご提案の被災地区への導入については、導入の可否について、今後検討してまいります。</p>	3	<p>答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする</p>
100	32-3	71	地区別計画：長沼地区【生活インフラ等の整備】	<p>復興道路として、河川における防災拠点へ通じる道路を国道から作ってほしい。</p> <p>また、農機具の避難場所とするため、河川における防災拠点は、堤防より1mかさ上げしてほしい。</p>	<p>道路の建設については、地区の皆様のご意見をお聴きしてまいります。</p> <p>農機具の避難場所については、ご意見として承りました。</p>	5	<p>その他(質問への回答や現状説明など)</p>
101	33-1	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	<ul style="list-style-type: none"> ・決壊地点上流の堤防からの噴砂を目撃した人が幾人もいるが、決壊地点から守田神社南側に押し出された大量の白い砂利は、堤防の構成物ではないのか。 ・歴史的に見て何度も同じ場所で決壊しており、今回の決壊地点は長沼城の堀のあった場所であり堤外には沼があったことから、決壊の原因として越水による川裏の洗掘が示されたが、浸透も起きていたのではないのか。また、他の地点に比べて堤防が低かったのではないのか。 ・決壊箇所は、構成物、堤防高などが洪水に耐えられない状態であり、強化策が早急に必要であったのではないのか。 ・堆積した土砂の撤去が行われていなかったことが、長沼地区に水を滞留させ水位を上げる要因となったのではないのか。また、ここ数年低水路の主流が左岸を削り決壊地点に向かって流れていたことも、あの場所を決壊させた一因ではないのか。 	<p>国が開催した「千曲川堤防調査委員会」において、穂保地区の堤防決壊などについて、その被災原因の解明と再度災害防止のための復旧工法の検討が行われました。</p> <p>堤防復旧に当たっては、堤防調査委員会及び地域住民からの意見なども踏まえた地質調査等の追加調査を行った上で、堤防復旧を行っている聞いています。</p> <p>ご意見については、国へ情報共有します。</p>	5	<p>その他(質問への回答や現状説明など)</p>

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
102	33-2	73～75	地区別計画:長沼地区【治水対策】	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防強化工事は、長沼地区を最優先で行ってほしい。 ・強化堤防が完成するまでは、鋼矢板での補強を行ってほしい。 ・川表側への法覆護岸工事が提示されているが、越水による川裏欠損が決壊の主な要因であれば、現計画の法肩と法尻の補強だけでは不十分であり、川裏面全体への法覆を実施してほしい ・堤防強化と堤防高の嵩上、赤沼と大町の県道の交通量の減少対策を兼ね堤防上の車道化(県道化)を進めてほしい。 ・桜づつみは残してほしい。 ・狭さく部の拡幅、河道掘削は、出水時までを一つの目途として早急に進めてほしい。 ・遊水地、遊水機能の確保は住民の提案を踏まえて早く進めてほしい。 ・防災ステーションは、千曲川決壊の長沼に建設してほしい。 	同上 (通番101)	5	その他(質問への回答や現状説明など)
103	33-3	30～31、75	施策1-1-2 住まいの確保・再建支援、地区別計画:長沼地区【農林・商工・観光業の振興等】	<ul style="list-style-type: none"> ①広い休耕地ができてしまった今、その場所に早急に災害公営住宅を建設してほしい。 ②新規就農者や1ターンUターンの若い世代、子育て世帯向けの一般公営住宅を多数建設してほしい。 ③長沼に移住する人には、特別家賃補助などの優遇制度を設け、同時に長沼で暮らすメリット(就農者への指導やお手伝い、農地の貸し出し、少人数での温かな保育など)を企画・アピールしてほしい。 	<p>①②自力再建が困難な被災者の皆様の新たなすまいの確保を図るため、被災前のコミュニティの維持にも配慮しながら、各被災地区における災害公営住宅入居の需要調査の結果を踏まえて整備に取り組んでまいります。</p> <p>なお、災害公営住宅については、一定期間経過後に、一般の公営住宅と同様の活用が可能となります。</p> <p>③特別家賃補助については、ご意見として承ました。なお、新規就農者支援制度や農地の流動化対策、農業公社のお手伝いさん事業など、就農者を支援する制度、事業の情報を、移住を希望する人に積極的に提供してまいります。さらに、市ホームページ内の「ながの子育てサイト」などを活用し、長沼保育園も含めた各園の独自性を引き続きアピールしてまいります。</p>	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
104	33-4	71,72	地区別計画:長沼地区【生活インフラ】、【公的サービス等の復旧・機能回復】	危機管理上、長沼の中心地(津野)の県道から国道へ抜ける道路の拡幅と長沼小学校に向かう道路の拡幅・直線化は必須であり、旧長沼支所・笠井医院・津野信号・長沼小学校を結ぶ道路の拡幅してほしい。また、小学校の南側の農地を学校と同じ高さにして校庭とし、現在の津野の信号からまっすぐな高い道路を造り、小学校の南校庭につなげたらどうか。	ご意見として承りました。道路の建設については、地区の皆様のご意見をお聴きしてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
105	33-5	72~73	地区別計画:長沼地区【公的サービス等の復旧・機能回復】	長沼地区は、公民館施設とその機能を失っており、早急に交流センターの仮設置と、職員の配置を含めた公民館機能の復旧を要望する。	ご要望として承りました。今後の取組の参考とします。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
106	33-6	72~73	地区別計画:長沼地区【公的サービス等の復旧・機能回復】	長沼支所、長沼交流センター、長沼保育園、児童センター、長沼体育館を同一の建物に集合化して建設してほしい。津野の拡幅された道路や国道に面した場所、公営住宅に近い場所に建設する。その周囲に広い駐車場や公園を整備してほしい。復興する長沼の中心となる希望の持てる場所が必要であり、子供と高齢者が交流し、若い人や他地区の人とも交流できる施設がほしい。その上で、スーパーが全くなかった長沼には、日用品や食品の買い物ができるお店が必要であり、例えば障害者やNPOが経営する施設を誘致してほしい。	長沼地区の復旧に当たっては、住民自治協議会や関係する皆様と協議し、検討してまいります。児童センターは、小学校からの距離や連携が重要なことから長沼支所等との集合化は難しいと考えておりますが、長沼児童センター及び長沼保育園の本格復旧については、児童センターと保育園の複合化や小学校への集約化を含め、総合的に検討してまいります。長沼体育館は、支所、交流センターの検討状況に合わせ、体育館機能の復旧を進めます。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
107	33-7	32～33	施策1-1-3 地域コミュニティの再構築・育成	各区の集会所の修復について、地域公民館建設等事業補助金が充てられるが、住民負担もあると聞いている。各戸が一律に修繕費を負担できる状況ではないため、補助金の限度額の引き上げと、100%公費での修復を要望する。	施策1-1-3地域コミュニティの再構築・育成(3)に記載のとおり、「地域公民館などの早期復旧に向け、改修等に要する地区の費用負担の軽減を図ります。」としており、令和元年東日本台風災害により被災した地域公民館の改築・補修事業に対し、さらなる負担の軽減が必要であることから、改築・補修事業に特例を設け、補助率を現行制度の3分の1から3分の2に、限度額については被災の程度によりますが180万円から360万円まで引き上げ、対応してまいります。 残る地元の負担金については、今後、県のコミュニティ復興支援交付金の活用を含めて検討してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
108	33-8	32～33	施策1-1-3 地域コミュニティの再構築・育成	人口流出や高齢化による住民負担の増加、役員のなり手不足など多くの課題が顕著になっており、区費の徴収もままならない状態となっている。復興とコミュニティの拠点である区の運営を支援するため、運営費用に対して補助をしてほしい。区の事業に財政支援を要望する。	施策1-1-3地域のコミュニティの再構築・育成(1)において、「災地区が自ら行う復興に資するコミュニティ活動や復興事業等の費用を支援します。」としており、被災された地区のコミュニティの維持・再生が円滑に行われるよう支援してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない
109	33-9	30～31	施策1-1-2 住まいの確保・再建支援	被災者生活再建支援金の大幅上乗せを、強く国に要望してほしい。	被災者生活再建支援金の支給額は法律で定められておりますことから、施策1-1-2住まいの確保・再建支援(5)に記載のとおり、支援金額の増額を含め支援制度の拡充について、市長会を通じて、被災市として国に要望してまいります。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
110	33-10	27～29	施策1-1-1 被災者の生活支援対策	市県民税や国保料の減免、固定資産税や都市計画税の減免、医療費や水道料の免除、就学援助などについて支援の継続を要望する。	<ul style="list-style-type: none"> 被災された方の市県民税の減免について、条例により、令和元年度の納期未到来の第3期・第4期分の税額を対象として減免を実施しました。令和2年度以降は、雑損控除による所得控除での税負担の軽減制度が適用される場合があります(控除しきれないときは以後3年間繰り越し可)。 国民健康保険料の減免及び医療機関窓口における一部負担金の免除については、国が定める基準に基づき令和2年9月末まで継続して実施します。 令和2年度の固定資産税・都市計画税の課税については、宅地、家屋それぞれ評価額の減額補正を行います。 被災建物の上下水道料金の減免については、あらかじめ期間を示したことで、多くの方は減免期間に併せ清掃を終了しているため、一律に期間を延長することは難しいと考えますが、被害の程度や抱える事情などは様々であることから、個別に状況をお聴きする中で対応しています。 就学援助は、国の方針に基づき支援していますが、今後も国の動向等を注視しつつ、柔軟かつ適切な対応に努めてまいります。 	5	その他(質問への回答や現状説明など)
111	33-11	50～51	施策2-1-1 農林業の再建	農業機械や軽トラック、パソコンなど農業の再建に必要なものの再取得について、補助の対象拡大と申請の再開を要望するとともに、申請者の事情に添った柔軟な対応をお願いしたい。	被災した農業用機械等の復旧に当たっては、国の補助事業を活用して支援していますが、軽トラック、パソコン等については、汎用性の高い機械、器具のため、農業用機械としての支援対象となりませんので、ご理解をお願いします。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
112	33-12	75	地区別計画:長沼地区【農林・商工・観光業の振興】	個人農家への支援、新規就農者支援とともに、奨励作物への助成金を活用した大規模農業の誘致やJAと連携した農業の再建計画を示してほしい。 長沼に雇用が生まれ、農産物を買うお客が集まるような、空き家空地対策を地元の人たちと知恵を出し合いながら農業振興地域の見直しについても要望する。	ご意見として承りました。農業を復興する農業振興策については、次回の長野市農業振興アクションプラン見直しの参考とします。 長沼地区は、本市の主力農産物であるりんごの産地であり、重要な生産拠点であるため、農業振興地域の農用地区域に設定している優良農地を維持していく方針です。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
113	34-1	25～117	第4～5章全般	この計画案は、具体的目標や緊急かつ必要性・必然性に欠けており、現在、実行・実施進行中の事業の羅列である。非常に甘い災害復興計画案であるので、長野市全体の実情に見合った復興計画に書き改めてほしい。	復興計画は、被災した市民の皆様へ、復興への道筋をお示しするものです。今後、計画の内容及びロードマップに基づき、取組を着実に進めてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
114	34-2	46～47	施策1-3-3地域の防災・減災体制の強化	緊急避難するためには、防災倉庫又は市内各消防署に設置してある『救命用の小舟』が必要である。設置すべき地区は、篠ノ井・安茂里・川中島・松代・芹田・大豆島・朝陽・柳原・古里・長沼・豊野・古牧・吉田・三輪等には各10艘以上必要である。各支所や消防署や防災倉庫に設置計画と実施が早急をお願いしたい。	救命用の小舟については、水の流れがある所などは操作において危険を伴うことなどから、住民が使用する想定での防災倉庫への設置は検討していません。ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
115	34-3	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	「長野市洪水ハザードマップ」を令和元年7月に新たに作成したことから、20メートル以上の洪水の高さになっても安心できるような、避難できる対策を作成願いたい。「長野市洪水ハザードマップ」に対して、堤防の高さ・幅を何メートルに計画して構築すれば、市民・住民を安全に守れるのか。また、堤防内部の構成地層をどのようにしていけば、決壊しない堤防になるのか、専門家や学者の意見から具体的な理想的な数値をこの計画案も盛り込むべきである。	長野市洪水ハザードマップは、河川管理者である国土交通省と長野県の想定最大規模降雨による浸水想定に基づき作成しています。ハザードマップの趣旨は、その場所の危険性を市民の方々に知っていただくことと、その危険性から逃れる場所をあらかじめ考えていただくものですので、災害が迫っている場合にはお早めに安全な場所へ避難していただきたいと考えています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
116	35-1	98～100	地区別計画:篠ノ井地区[ロードマップ](2)	河川関係意見交換会が開かれ、篠ノ井塩崎地先(千曲川左岸、しなの鉄道鉄橋～聖川合流点付近)の越水痕跡の復旧断面図が示されたが、概ね5年と施工期間が長すぎる。 この間に今回以上の洪水に襲われれば、当地区で堤防が決壊することが容易に想定される。そこで、決壊に対するリスクを軽減するため、民地側の堤防欠損部を埋め戻し、築堤し、速やかに鋼矢板を法肩保護工下面天場まで打ち込んでほしい。この施工をR2年度中に完了させること。 次に、光ケーブル復旧、法肩保護工、法尻補強工、川側の法覆護岸工、天場舗装工の順に施工し、できるだけ早く復旧工事を完了させること。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の河川における対策では、概ね5年と概ね10年の段階的目標を立て、目標を達成するための対策内容をお示ししています。 被災箇所への復旧については、本年出水期までに従前の堤防断面に復旧し、堤防強化として越水対策を実施すると聞いています。 ご意見については、国へ情報共有します。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
117	35-2	98～99	地区別計画:篠ノ井地区【治水対策】	栗佐橋から、しなの鉄道付近までの千曲川左岸堤防は、周辺地域に遊水地を設けることは危険である。もし設置すれば、それは「遊水地」ではなく「誘洪水地」となり、今回浸水被害の生じた塩崎地区、御弊川地区、会地区、小森地区に洪水の本流を呼び込むことにもなりかねない。 「遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、決定する」とあるが、地域住民が十分納得できるような調査・検討、説明を行い、方向付けするよう強く要望する。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の河川における対策では、概ね5年と概ね10年の段階的目標を立て、目標を達成するための対策内容をお示ししています。 なお、遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、詳細が決定されると国から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
118	36-1	98～99	地区別計画:篠ノ井地区【治水対策】	今回の洪水により既存排水機場の吐水槽は堤防高さより1m以上低く堤内水位が上昇すると「吐水」した水が機場敷地内に噴出し機能不全に陥るため、排水機場の新設・改修・整備の項目を設け、「機場内の吐水槽の嵩上げを実施する」ことを追記してほしい。	吐水槽の高さは、千曲川の計画堤防高と同じ高さとなっていますが、吐水槽から水が噴出したことについては、様々な原因があると考えられるため、ポンプ能力や吐水槽の構造等を検証し、ご意見については、国・県にも情報共有・要望の上、今後検討してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
119	36-2	98	地区別計画:篠ノ井地区【治水対策】	岩野橋下流左岸、特に県消防学校向かい赤坂橋の上・下流100mは、倒伏木が多く今後の増水により下流及び堤防左岸に悪影響の恐れがあるため、河道内の堆積土砂の「後」に、「河辺にある倒伏樹木の撤去」を追記すべきである。	土地所有者を確認の上、処理が進むよう関係機関で調整してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
120	37-1	83～85	地区別計画:豊野地区【治水対策】	治水対策については、今後万全を期して推進していただけるものと信じているが、それだけでは人が戻るとは思えない。防災対策ができ、復興に向かって進むためのシンボルとなるような施設、復興のための活動拠点となるコミュニティ施設ができることでまちの「賑わい」の創出が可能になる。沖団地と美濃和田団地は、建て替えとのことだが、沖団地の跡地にはまちの「賑わい」を目指し、「復興センター」を設置していただきたい。	ご意見として承りました。今後の取組の参考とします。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
121	38-1	80	地区別計画:豊野地区【生活インフラ等の整備】	豊南町遊園地の復旧・整備期間はR2年度予定となっているが、住宅街にあり、隣接する住宅も修繕中であることから、5月連休中までの完了を希望する。	第5章地区別計画の豊野地区【生活インフラ等の整備】(3)に記載のとおり、豊南町遊園地は、災害廃棄物仮置き場として使用されたため、表土に混入した危険物を取り除きながら遊園地の復旧を進めてまいります。なお、復旧工事には数か月の期間を要しますが、早期復旧に努めてまいりますのでご理解いただきますようお願いいたします。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
122	38-2	80	地区別計画: 豊野地区 【生活インフラ等の整備】	メイン道路に面した沖団地には、解体後、災害公営住宅及び防災センター兼集会所を設置し、令和元年東日本台風の記念シンボルタワーとしてはいかがか。	ご意見として承りました。今後の取組の参考とします。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
123	38-3	80	地区別計画: 豊野地区 【生活インフラ等の整備】	下水処理場の土砂(汚泥)も流入した豊野地区の市街地について、道路側溝の土砂撤去をお願いしたい。	現地の状況を見ながら必要な箇所について対応してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
124	38-4	36~37	施策1-2-2 公的サービス等の復旧・機能回復	復旧を目指す公的施設は、統合施設としてユニバーサルデザインの施設とすること。	公共施設の復旧においては、将来にわたる市民ニーズや個々の施設の状況などを踏まえ、複合化・多機能化も選択肢とし、地域の皆様と協議しながら復旧方法を検討してまいります。 また、不特定多数の方が利用する施設の場合、新築や改築については「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(通称バリアフリー法)」や「長野県福祉のまちづくり条例」の規定に基づき設計を行いユニバーサルデザインも取り入れた施設整備を進めております。既存施設については、改修工事等に合わせて、可能な限りバリアフリーやユニバーサルデザインへの配慮をしております。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
125	38-5	38~44	施策1-3-1 治水・治山対策	浅川下流堤防のかさ上げは、右岸のみでなく、人口の多い左岸も実施すると同時に、被災した排水機場は絶えず稼働状態にする管理が必要である。 千曲川河川敷で営まれている農業は土砂撤去後まで停止し、河川改修工事のレベルは須坂側と同レベルとすること。	浅川下流堤防のかさ上げについては通番84に記載のとおりです。 令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画の施策1-3-1治水・治山対策(1)(4)に記載のとおり、千曲川本川及び支川の治水対策を進めてまいります。ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
126	39-1	36～37	施策1-2-2 公的サービス等の復旧・機能回復	ゴミステーションを復活してほしい。 ごみを前の日から出せるようにしてほしい。	ご意見として承りました。 ごみ集積所の設置、改修については、補助制度がありますのでご相談願います。また、ごみを出す時間については、自治会等がごみ集積所を管理しており、集積所ごとにルールを定めています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
127	39-2	71	地区別計画: 長沼地区 【生活インフラ等の整備】	長沼地区の道を早く整地してほしい。	被災した道路の早期復旧に努めてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
128	40-1	98～99	地区別計画: 篠ノ井地区【治水対策】	小森第一排水機場の吐出水槽の高さは、千曲川の計画水位高に基づくとのことであるが、昭和期に基準を設定した後、千曲川川底上昇、河川敷の土砂の堆積等で環境が変化しており、計画水位高の見直しが必要ではないか。 小森第一排水機場へは篠ノ井、川中島地区の雨水路、用水路が何本も集中し、今後も雨水幹線の新設が計画されております。当排水機場の吐出水槽の早期嵩上げをお願いします。	吐出水槽の高さは、千曲川の計画堤防高と同じ高さとなっておりますが、吐出水槽から水が噴出したことについては、様々な原因があると考えられるため、ポンプ能力や吐出水槽等の構造を検証し、ご意見については、国・県にも情報共有・要望の上、今後検討してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
129	40-2	98～99	地区別計画: 篠ノ井地区【治水対策】	岡田川へ排水機場ができれば、岡田川から大払い堰への流入は不要になると思われる。岡田川排水機場の早期建設をお願いしたい。また、岡田川からの大払い堰取入れ口を閉じていただきたい。	第5章地区別計画の篠ノ井地区【治水対策】(5)に記載のとおり、岡田川排水機場については整備が促進され、令和6年度までに完了の予定となっております。 大払堰取り入れの取り扱いについては、県・市・地元関係区で調整してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
130	41-1	98～99	地区別計画: 篠ノ井地区【治水対策】	ポンプ場設置の留意点として、内水氾濫によって運転に支障をきたすことのないよう、余裕の高さまでポンプ自体を水密構造とする、あるいは床面を高くするなど、十分な配慮を払うべきである。	小森第一排水機場の災害復旧工事に併せて、電気制御盤や機器類を嵩上げするなどの耐水化を図り、再度浸水してもポンプが稼働できるような対策を実施してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
131	41-2	98～99	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	吐出水槽の上端の高さは、堤防の高さ(計画堤防又は現況堤防の高い方)以上の高さが必要であるとされている。現堤防の高さが計画堤防の高さを55cm上回っているが、著しく上回っているとは言えないと思われる。	吐出水槽の高さは、千曲川の計画堤防高と同じ高さとなっておりますが、吐出水槽から水が噴出したことについては、様々な原因があると考えられるため、ポンプ能力や吐出水槽の構造等を検証し、ご意見については、国・県にも情報共有・要望の上、今後検討してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
132	41-3	98～99	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	大払堰及び念仏寺川堰の河道掘削等の越水対策をお願いしたい。	現場の堆積状況を確認し、しゅんせつの必要箇所があれば対応してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
133	41-4	98～99	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	岡田川排水機場の早期建設及び横田橋上の大払堰取入口の閉鎖をお願いしたい。	第5章地区別計画の篠ノ井地区【治水対策】(5)に記載のとおり、岡田川排水機場については整備が促進され、令和6年度までに完了の予定となっております。大払堰取り入れの取り扱いについては、県・市・地元関係区で調整してまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
134	41-5	98～99	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	小森地区の千曲川越水対策と東荒沢堰の河道掘削等の越水対策をお願いしたい。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画 施策1-3-1治山・治山対策に記載のとおり、千曲川の堤防強化(越水対策)も含めた治水対策を進めてまいります。また、東荒沢堰については、現場の堆積状況を確認し、しゅんせつの必要箇所があれば対応してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
135	42-1	38～44	施策1-3-1治水・治山対策	信濃川水系緊急治水対策プロジェクトの内容が不明である。備考(具体的な事業等)とあるので、国・県の取組の詳細部分を明記してほしい。	長野市災害復興計画では、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトを抜粋して掲載しています。詳細は、令和2年1月31日に信濃川水系緊急治水対策会議が最終とりまとめを行いました信濃川水系緊急治水対策プロジェクトを別途参照してください。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
136	42-2	31	施策1-1-2 住まいの確保・再建支援	今般の新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅設備品の部品輸入の目途が立たない状況で、修理や再建がストップになった。一連のロードマップが短期で不安なため、考慮いただきたい。	現時点でロードマップの見直しは行いませんが、新型コロナウイルス感染症の影響を注視してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
137	42-3	41	施策1-3-1 治水・治山対策	ロードマップ(5)備考欄の「松代地区銅山川」がどの川か不明である。	松代町豊栄の赤柴区を流れる普通河川です。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
138	42-4	109	地区別計画:松代地区 【農業・観光業の振興】	文化財の利活用促進の具体化として、松代藩文化施設(真田宝物館本体及び付近の売店等、真田邸南側市道沿いの空き家・旧駐車場等、象山記念館)について、建物及び周辺整備に取り組む姿勢・方向を示してほしい。	真田公園一帯の再編や真田宝物館の複合化・多機能化を含めた周辺整備について、地元検討委員会と協議の上、進めてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
139	42-5	118~119	第6章	国・県のより具体的な治水対策を記載した実施計画を作成して地区に示してほしい。 信濃川水系千曲川緊急治水対策会議での長野市分の実施計画を示してPDCAサイクルによる進捗管理をしてほしい。今のまま具体性に欠けた計画では住民側は理解できない。長野市災害復興計画によって被災した各地区の具体的な実施計画へとつなげるよう期待している。	長野市災害復興計画は、復旧・復興への道筋を示すものであり、実施計画等は作成しませんが、ロードマップに基づき、各実施機関が取組を着実に進めてまいります。 また、施策1-3-1治水・治水対策(12)に記載のとおり、「河川改修事業の工程や進捗状況等を見える化し、広く・分かりやすく市民へ情報提供」してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
140	43-1	98~100	地区別計画:篠ノ井地区【治水対策】	台風19号の際、篠ノ井塩崎の西山沿いの地区で、山側の道路沿いの排水溝が土砂・枝等で埋まり、沢水が道路と反対側の法面を流れた。もう少し水量が多ければ法面崩壊につながると考えられるため、山腹崩壊、山沢の洪水防止として、中山間地の排水溝の整備を早急にご検討願いたい。	全ての中山間地の道路に側溝を整備するには、多くの時間と費用が必要になることから、地域の皆様のご要望やご意見をお聞きしながら、計画的に整備を進めてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
141	44-1	98～100	地区別計画：篠ノ井地区【治水対策】	篠ノ井塩崎軻良根古神社～庄ノ宮の堤防復旧は、今年の出水期までに必ず完了してほしい。 聖川、岡田川等、千曲川支川の河川改修工事をやり過ぎではないか。全ての千曲川支川が遊水地に溢れ出せば、千曲川の水位が今回ほどには上がらなかったのではないか。	令和2年1月に公表しました国・県・流域市町村が連携して取り組む「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」及び長野市災害復興計画の施策1-3-1 治水・治山対策(1)(4)に記載のとおり、千曲川本川及び支川の治水対策を進めてまいります。 当該被災箇所の復旧については、本年出水期までに従前の堤防断面に復旧し、堤防強化として越水対策を実施すると国から聞いています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
142	45-1	83～85	地区別計画：豊野地区【治水対策】	新聞報道によると、豊野地区でも防災拠点や消防分署を設けて欲しいという要望があると聞か、被災地ということで一定の理解はするが、市は是非とも市全体のバランスを考えて判断してほしい。	ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
143	46-1	56	2-2-2 商工業の振興	効率的な街にするためには、しっかりとした絵を描く人が必要と考える。長野市には日本地域科学総合研究所があり、そこに所属する専門家に依頼し、街づくりをするべきと考える。	ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
144	46-2	58～59	施策3-1-1 移住・定住促進	長沼地区の多くは市街化調整区域であるが、今後の移住・定住促進のため、市街化区域にすべきである。ただし、税金が上がるのは被災した住民にとって大きな負担になるため、災害の特例などによる減免を考えるべきである。	人口減少が急速に進む中で、新たな市街化拡大は、非常に困難な状況となっておりますので、ご意見として承りました。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
145	46-3	60～61	施策3-1-2 復興応援事業	長野マラソンのスタート地点を長沼に変更し、復興を込めたマラソンとするべきである。 また、上田-千曲-篠ノ井-松代-穂保というルートを含めた復興自転車イベントの開催を検討すべきである。	長野マラソンのコースは、大会組織委員会が設定していますが、国際陸上競技連盟の規則を満たす現在のコースに変更後定着しており、スタート地点を変更することは困難と考えています。また、復興自転車イベントのご意見については、今後の取組の参考とします。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
146	46-4	53～54	施策2-2-1 農業の振興	長沼地区は農家の高齢化が進んでおり、今回の被災でりんごを辞めるという人間が増えている。ただ、若手の農家の集まりの結束はここで強くなったため、新しい形の農業を考えるべきである。具体的には、ITを使った試験的な農業をするチャンスであり、これにより将来的に農家の負担を減らすことにつながるのではないかと。	農業従事者の高齢化やリタイアが進行することが見込まれる中、ロボット技術・AI・ICT等の先端技術は、作業の自動化や効率化、ひいては地域農業を次世代に継承していくために今後一層の開発と普及が必要と考えています。こうしたスマート農業の導入促進に向けて取り組んでまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
147	47-1	48～49	施策1-3-4 災害対応の検証	長野市の千曲川が氾濫する可能性が高いことは予想できたので、遅くとも正午には避難を始めなければならなかったのに指示は遅れた。さらに、要支援者の避難は状況が悪化する前に終わっていなければならないので、前日中、遅くとも朝には避難させるべきなのに、これも遅れた。千曲川の水位が上がれば浅川の内水氾濫の可能性が高くなるのは明らかなので、ポンプによる排水の強化と浅川流域の避難も指示すべきだったが、これも遅れた。原因を明確にして、次回から対処できる様にすべきである。	避難勧告等の発令に当たっては、国の示すガイドライン、長野市地域防災計画等に基づき早めの発令を行っている。前日、12日正午時点では、避難の指示等を発令する状況になかったことをご理解いただきたい。また、浅川のポンプ操作は浅川改良事務所が行っており、当日は電話により連携を取っていた。浅川流域の洪水は浅川によるものか、千曲川のはん濫によるものであるかは、様々な見解がある。今後は、国の示すガイドライン、長野市地域防災計画等に基づくとともに、今回の災害を踏まえて、早めの避難の呼びかけを行っていく。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
148	47-2	38～44	施策1-3-1 治水・治山対策	千曲川の狭さく部の上流箇所では氾濫が繰り返されていて、中期的な対策が必要だったのにもかかわらず、浚渫、樹木伐採、河川敷内の果樹園撤去などを国や県に要望しなかった。また、危険地域については、転居やかさ上げを行うべきであった。さらに、堤防強化について学ぶこともなかったので、「調べて学ぶ」という市民を育てるべきである。	沿川の市町により構成される「千曲川改修期成同盟会」では、立ヶ花狭窄部を最重点要望箇所として、また、市長が会長を務める「千曲川護岸工事(芹田～長沼)促進期成同盟会」においても狭窄部解消要望をしております。令和元年東日本台風を踏まえ、今後も引き続き、抜本的な治水対策を国や県に要望してまいります。また、ご意見については取組の参考とします。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
149	47-3	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	ダムによる洪水抑制効果が限定的であるという前提で浅川の洪水対策をすべきだったのに検討されなかった。その結果、ポンプ場が水没して内水氾濫を止めることができなかった。複数のシナリオを検討し、国、県と連携して対処すべきである。	国・県・流域市町村が連携し、令和2年1月にとりまとめられた、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトでは、「河川における対策」、「流域における対策」、「まちづくり・ソフト施策」を推進し、内水氾濫防止あるいは軽減する取組を実施してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
150	47-4	25～118	第4～6章全 般	自治会への参加は任意であり、行政に関わることについて、何の権限も責任も持っていないし、運営が民主的であるという保証はない。意見交換会は平日昼間に行われたので、参加できる人は限られている。写真では大半が年配の男性である。委員会の自治会代表者は、6人全員が男性である。アンケートは世帯単位で行ったので、個人の意見が反映されていない可能性があるのに問題とならなかった。アメダスや水位計のデータを見て問題にする人がいるような組織ではない。行政は、市民と直接に対峙しなければならない。	復興計画検討委員会の地区代表委員は、各地区の推薦者に委員をお願いしています。また、アンケートについては、一般的には世帯に送付していることが多いのが現状となっています。パブリックコメントで広くご意見を募っておりますが、ご指摘については、ご意見として承り、今後の参考としてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
151	47-5	23	第2章	災害復興計画検討委員会の構成は、女性2名だけであり。障害者の代表は含まれていないし、若年層も参加していない。既存の組織ではなく、市民を中心として再検討すべきである。	各地区での意見交換会やパブリックコメントなどで広くご意見を募っておりますが、ご指摘については、ご意見として承り、今後の参考としてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
152	47-6	38～44	施策1-3-1 治水・治山 対策	洪水は抑え込めないという前提の下に、まちづくりを再検討すべきであり、人口は減り続けると思われるので、短期的には、小さな災害を容認できるような対策と、中期的には危険地域から安全性が高い場所への移住を進めるべきである。	ご意見として承りました。今後の取組の参考とします。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
153	47-7	34～35	施策1-2-1 生活インフラ・ライフライン等の整備	長野市街地には障害者を考慮していない道路や公共交通機関の駅・停留所が多く、日常的に横断できない場所や、地震や洪水で安全ではない横断施設もあるため、今回の災害を機会として、ユニバーサル・デザインのまちづくりを進めてほしい。	第五次長野市総合計画、長野市障害者基本計画の中で推進してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
154	48-1	39	施策1-3-1 治水・治山対策	千曲川の破堤や越水は、立ヶ花の狭さく部による大きな原因と思われることから、(7)「抜本的な治水対策を今後も要望していきます。」との記載を「抜本的な治水対策(千曲川立ヶ花狭さく部の拡幅等)を今後も要望していきます。」に修正し、千曲川河川整備計画に立ヶ花狭さく部の拡幅を明記するよう、県と連携して要望することを記載してほしい。	沿川の市町により構成される「千曲川改修期成同盟会」では、立ヶ花狭窄部を最重点要望箇所として、また、市長が会長を務める「千曲川護岸工事(芹田～長沼)促進期成同盟会」においても狭窄部解消要望をいたしました。令和元年東日本台風を踏まえ、今後も引き続き、抜本的な治水対策を国や県に要望してまいります。また、ご意見については取組の参考とします。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
155	49-1	27	施策1-1-1 被災者の生活支援対策	今回の災害支援に対する特徴として、避難所に子どもの居場所が設けられていたことは全国的にも特筆すべきことであり、ボランティア活動の内容に子どもの一時預かり等も入れてほしい。 今回、地元NPO法人等子ども支援団体がいち早く子ども支援に関わり、一時預かりや見守り等を行い、災害の後片付けなどに専念できる等大きな効果をもたらした。基本方針1「安全・安心の再生」では、「被災者の悩みや課題解決のため、一人ひとりに寄り添った、きめ細やかな対応ができる相談体制を整備」と明記されているにもかかわらず、「子どもの権利第31条遊ぶ権利」についての記述がない。復旧復興期において、被災者となってしまった子どもの健やかな成長を支える支援として、「安全・安心な子どもの居場所」の設置をぜひ加えてほしい。	安心安全な子どもの居場所は、被災した保護者や子ども達にとって、大切な場所と考えています。今回の災害では当初よりNPO法人や様々な民間団体の方のお力により、子ども達を支えることができたことはすばらしいことと思います。 ご提案のあった内容は、施策1-1-1被災者の生活支援対策(8)において、「子育ての不安の解消」を図るとともに、「子どもたちや保護者同士の交流の場づくり」に取り組むこととしています。	2	答申案に盛り込まれており、修正しない

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
156	50-1	27	施策1-1-1 被災者の生活支援対策	(3)「長野市生活支援・地域ささえあいセンターによる被災者への巡回訪問等」とあるが、巡回訪問を行う範囲はどこまでを想定しているか不明である。仮設住宅は対象となるだろうが、みなし仮設、自宅避難者は対象とならないのか。また、応急仮設住宅入居者は「みなし仮設」、自宅において災害を要因として孤立するおそれのある方は「自宅避難者」と考えて良いのか。またその場合、全ての被災者への巡回訪問を行うつもりか。	巡回訪問は、被災前とは大きく異なった環境のなかで生活している応急仮設住宅(みなし仮設も含む)の入居者を対象としていますが、在宅であっても孤立するおそれのある方など、定期的な見守りが必要な方も対象に含めています。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
157	50-2	27	施策1-1-1 被災者の生活支援対策	(4)「長野市生活支援・地域ささえあいセンターによる被災者への巡回訪問等を通じて、被災者の健康状態や生活環境、ニーズ等の把握を行い、民生児童委員、関係機関、団体等と連携して支援します。」とあるが、市の機関・職員を通じて得られることには限界があると思われる。発災から現在も長期にわたり被災者と向き合っているボランティア団体が複数あるが、どうしてボランティア団体と協力することはできないのか。	引き続き、被災者へのきめ細かい支援のために、民生児童委員、関係機関、ボランティア団体等と情報共有を図り、連携して支援してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
158	50-3	27	施策1-1-1 被災者の生活支援対策	<p>(5)「市に被災者見守り支援担当職員を配置し、長野市生活支援・地域ささえあいセンターや関係機関等と連携し、被災者に寄り添いながら個別のケース課題に対応します。」とあるが、課題に対して「被災者見守り支援担当職員」の責任はどこまで権限があるのか。計画や、予算を立てたりで実行までに時間がかかる、もしくは課題を吸い上げたが問題解決に至らないのであればあまり意味がない。本当に見守りを行うだけの職員は足りないし、担当させられた職員の方もモチベーションや心身的な負担が大きいと予想される。職員の方によりの程度権限が与えられるかによって被災者の協力姿勢も違う。</p> <p>また、「市に配置する」というのは、被災者側から相談に来いという意味か。</p> <p>この計画の中心対象地区が長沼、豊野、古里、篠ノ井、松代及び若穂地区であるならば各地区の支所やボラセンに開設すべきではないか。</p>	<p>被災者見守り支援担当職員は、被災者個々の課題を整理し、市の関係各課や関係機関と仲介・連携を図りながら、速やかに問題解決するための生活支援体制を強化するために設置したものです。相談は、訪問や電話等により対応します。</p> <p>長野市生活支援・地域ささえあいセンターでは、応急仮設住宅入所者の孤立防止等のため、巡回訪問を行っています。訪問先は、建設仮設住宅、公営住宅、みなし仮設住宅など市内外の広範囲となるため、被災者の状況や、ニーズ等に応じて支援してまいります。</p>	5	その他(質問への回答や現状説明など)
159	50-4	32	施策1-1-3 地域コミュニティの再構築・育成	<p>(5)「ボランティアを行う者と受ける者の相互にとって、地域でのボランティア活動が行いやすくなるよう、コーディネートなどの支援を行います。」とあるが、長期支援ボランティアへの資金の提供も考えた方がよい。市が新たに事を始めるより、既に支援を行ってきたボランティア団体の方が信頼を得ているし、その方がスムーズである。発災から行われたボランティア日数で計算して資金を提供してもらえると助かるボランティア団体多い。また、「コーディネート」とあるが、「災害NGO結」に外注してはどうか。もしくは、同等のコーディネートができる人材を育てることが必要ではないか。</p>	<p>・現在、長野市災害ボランティアセンターでは、1月13日までに事前登録いただいた方に支援をお願いしており、経験者の方の活動が中心となっています。</p> <p>・資金については、災害ボランティアセンターにおいて必要な支援内容の把握に努め、活動に必要な経費を支出しています。直接ボランティアに資金提供し、活動のお願いをすることは考えておりませんが、支援者の声をお聴きしながら、活動に当たって不便がないように努めてまいります。</p> <p>・コーディネートについては、活動開始以来、NPOを始め、様々な団体から支援・助言をいただき、運営に反映してきました。このような助言等を参考にしながら、ご提案いただいたコーディネート可能な人材育成に努めてまいります。</p>	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
160	50-5	39	施策1-3-1 治水・治山 対策	(11)「国・県・市の連携・協力により、防災教育や防災知識の普及のため、マイ・タイムラインの普及」とあるが、地域にも教育が必要である。子どもを通して保護者への教育・知識の補充・家族内での意思統一が行われるため、小学校・中学校での教育の方が必要で重要である。	学校における水害対応については、各校の危機管理マニュアルをマイ・タイムラインのよさを取り入れて見直すよう各校長に指示しています。小・中学校に対しましては、家庭・地域・関係諸機関の協力を得ながら、実践的な防災教育の推進に努めてまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
161	50-6	45	施策1-3-2 防災・減災に 向けた都市 基盤の強化	(2)「被災住宅の再建に併せ、住宅の耐震化に対し支援するほか、危険ブロック塀の除却及び危険空家等対策を推進します。」とあるが、全地区の全ブロック塀を対象とするとやりきれないため、小学生・中学生の通学路となる道のブロック塀を優先して調査してほしい。個人のお宅のブロック塀には小学校も口を出せないため、撤去されず狭くて逃げ場がない箇所もある。	ご意見として承りました。 小中学生の通学路を優先して調査を行い、危険ブロック塀の所有者に対しては、市の補助金を活用した除却等を促すことで、危険ブロック塀対策を推進してまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
162	50-7	46	施策1-3-3 地域の防災・ 減災体制の 強化	「(2) 地区防災計画(防災訓練や物資・資材の備蓄、避難経路の確認、住民の助け合いによる救助活動のルール等を定めたもの)や防災マップの作成を通じ各地区の自主的防災体制の構築を図るとともに、自主防災組織の支援育成等を通じ各地域の災害対応力の強化を図り、災害に強い地域をつくります。」とあるが、期限を指定してほしい。	自主防災組織は、地域で自発的に活動いただいているものであり、それぞれボランティアで活動いただいています。仕事ではないことから、期限を設けることは困難ですので、ご理解をお願いします。	5	その他(質問への回答や現状説明など)
163	50-8	48	施策1-3-4 行政の災害 対応力の強 化	(6)職員の育成について、非常時の権限管理についても話し合っしてほしい。現段階の市の対応は遅いため、効率化も必要である。	今回の災害では、なるべく現場で即断・即決するよう努めてまいりました。職員の育成や災害対応の検証を通じて、効率的に対応できるよう努めてまいります。	5	その他(質問への回答や現状説明など)

通番	枝番	ページ	施策名等	いただいたご意見・ご提案	考え方	対応区分	対応内容
164	50-9	48	施策1-3-4 行政の災害 対応力の強 化	(7)災害時必需品等備蓄強化について、日本の避難所は地べたに寝るスタイルであるため、居心地が悪く、プライバシーや貴重品も守ることができない劣悪な環境である。備蓄品についてやテントを加えるなど、個々のプライベートを守れる避難所作りをしてほしい。 また、市長や県知事が率先して体育館に泊まる防災訓練に参加してほしい。	今回の災害では、段ボールベット、畳、発泡スチロール製の断熱材などを使用し、避難者ができるだけ負担とならないよう努めてまいりました。今回の災害を踏まえ、備蓄品の強化・避難所の環境整備に努めてまいります。	3	答申案は修正しないが、今後の取組や実施事業において、検討又は参考とする
165	51-1	27～29	施策1-1-1 被災者の生 活支援対策	ぬくぬく亭の機能は、①地区の被災住民の生活再建状況の全体像把握のためのローラー活動、②ぬくぬく亭サロンの開催で困りごと、ニーズ拾い上げ、③困りごとに対応可能な範囲(各種支援団体の連携)で対応する3機能と、地域福祉の3要素が揃っている。上記のような専門性のあるスタッフがいる拠点事業は被災時だけでなく地域福祉にとって極めて重要であると認められるため、1-1-1被災者の生活支援対策(3)に「民間・非営利による拠点運営事業を支援します」と追記してほしい。 なお、具体的なイメージは、ぬくぬく亭のような体制をとれる地区で交流拠点運営をする場合の人件費と、上記3機能事業運営費補助の支援をするもの(補助3年間事業、委託)。	施策1-1-1被災者の生活支援対策(3)(4)において、「長野市生活支援・地域ささえあいセンターによる被災者への巡回訪問等」を通じて、「孤立防止のための交流事業など」や、「民生児童委員、関係機関、団体等と連携」などについて記載しています。 長野市生活支援・地域ささえあいセンターでは、民間・非営利団体のボランティア等と情報を共有し、交流事業を行っているため、現状の記載でご理解をお願いします。	4	答申案に盛り込まれていないが、検討の結果、修正しない
166	51-2	27～29	施策1-1-1 被災者の生 活支援対策	経済格差が復興格差につながっており、支援制度についても期限内に対応できない場合も想定していく必要がある。そこで、施策1-1-1被災者の生活支援対策(5)に「在宅被災者の実態把握を行い復興支援措置等においても柔軟に対応できるよう努めます。」と追記してほしい。	施策1-1-1被災者の生活支援対策(3)～(5)において、被災者が一日も早く被災前の生活を取り戻せるよう、被災者に寄り添いながら個別のケース課題に対応するため、「長野市生活支援・地域ささえあいセンターによる被災者への巡回訪問等」や、この活動と連携する市の「被災者見守り支援担当職員の配置」などを記載しており、ご意見の内容に対応していくことから、現状の記載でご理解をお願いします。	4	答申案に盛り込まれていないが、検討の結果、修正しない